

令和5年度第1回医師国保通常組合会

と き 令和5年7月20日(木) 15:00～15:30

ところ 山口県医師会6階会議室

I 開会

事務長、出席議員の確認を行い、議員定数31名、出席議員26名で定足数に達しており、会議が成立する旨報告。

II 理事長挨拶

加藤理事長 本日は、暑い中お集まりいただき、ありがとうございます。

さて、7月14日、東京にて全国医師国民健康保険組合連合会の理事会が開催されました。

そこで話題となったのは国庫補助で、かつて32%だった定率分補助が13%にまで削減されたことでした。

また、削減後も、財政制度等審議会における財政制度分科会において、能力に応じた保険料負担と称し、所得水準の高い国民健康保険組合に対す

る定率補助はさらなる見直しを必要として、廃止することも検討すべきと打ち出されました。

これに全医連は日医と連携し、歯科医師国保と薬剤師国保とともに厚労省への申し入れを行い、本年度の国の予算編成では定率国庫補助の削減・廃止を避けることができましたが、今後も財務省から絶えず圧力がかかる可能性があります。

そして、高額医療についてであります。高額薬剤が生まれる中、こういった治療を必要とする方が増えていくと保険料を上げなければなりません。

次に、本組合における被保険者数ですが、日本全体の人口が減る中で、医師の高齢化と開業がさほど増えない状況が合わさり、減少に繋がっております。

また、勤労者皆保険の構想が広まっております。これは労働時間や条件にかかわらず、協会けんぽ

出席者

組合会議員

大島郡	野村 壽和	防府	村田 敦
玖珂	山下 秀治	防府	松村 康博
熊毛郡	沖野 良介	下松	山下 弘巳
吉南	弘中 克己	岩国市	小林 元壯
美祢郡	竹尾 善文	岩国市	西岡 義幸
下関市	綾目 秀夫	山陽小野田	藤村 嘉彦
下関市	青柳 俊平	光市	廣田 修
宇部市	西村 滋生	柳井	弘田 直樹
宇部市	高田弘一郎	長門市	清水 達朗
宇部市	矢野 忠生	美祢市	札幌 博義
山口市	成重 隆博		
山口市	佐々木映子		
山口市	鮎川 浩志		
萩市	綿貫 篤志		
徳山	津永 長門		
徳山	高木 昭		

役員

理事長	加藤 智栄
副理事長	沖中 芳彦
常務理事	長谷川奈津江
常務理事	上野 雄史
理事	前川 恭子
理事	河村 一郎
理事	茶川 治樹
理事	縄田 修吾
理事	白澤 文吾
理事	竹中 博昭
理事	木村 正統
理事	岡 紳爾
理事	藤井 郁英
理事	國近 尚美
監事	宮本 正樹
監事	友近 康明

等への加入が必要となるものですが、国保組合の被保険者数の減少に繋がるのではないかと危惧されております。

8月5日に中国四国医師国保組合連絡協議会が開催されますが、ここで合併・統合シミュレーションについて議論することとしております。これは、組合の運営が困難となった場合の1つの選択肢として検討するものですが、デメリットも考慮しつつ、視野に入れていきたいと思っております。

本日は、3つの審議事項がございますが、何卒慎重なご審議のほど、よろしくお願いたします。

議事録署名議員指名

議長、議事録署名議員を次のとおり指名。

- 青柳 俊平 議員
廣田 修 議員

III 議案審議

承認第1号 令和4年度事業報告について

長谷川常務理事「1 被保険者」の1.「被保険者の状況」では令和3年度末の3,717人に対し、令和4年度末は3,596人と減少している。

要因として、75歳到達者が広域連合へ異動すること、また、先生方のお子様が独立されることが挙げられる。

なお、平成19年度末の5,809人がピークとなり、15年間で2,213人の減少、約62%に落ち込んでいる。

2.「被保険者数の推移」では、「70歳以上(再掲)の一般」となる2割負担者と、未就学児が若干増加しているものの、それ以外は軒並み減少している。

3.「介護保険第2号被保険者数の推移」では、40歳以上65歳未満を掲げているが、乙家族の若干の増加を除けば、やはり減少傾向である。

また、「参考 後期高齢者組合員の状況」では、組合員の高齢化が進んでいることが分かる。

「甲種組合員の年齢構成」は、令和4年5月1日現在で示しており、平均年齢は、63.7歳となっている。

1 被保険者

1. 被保険者の状況

Table with 6 columns: 種別, 内訳, 3年度末現在数, 4年度中加入者数, 4年度中脱退者数, 4年度末現在数, 構成比. Rows include 甲種組合員, 甲種組合員の家族, 乙種組合員, 乙種組合員の家族, and 合計.

注()は、平成9年9月1日以降に適用除外承認を受けて加入した者の人数で、下段の再掲である。

2. 被保険者数の推移

Table with 10 columns: 年月, 甲種組合員, 甲種組合員の家族, 乙種組合員, 乙種組合員の家族, 合計, 70歳以上(再掲)現役並み, 70歳以上(再掲)一般, 65~74歳(再掲), 未就学児(再掲). Rows for months 4-12 and 1-3, plus annual average.

注()は、平成9年9月1日以降に適用除外承認を受けて加入した者の人数で、下段の再掲である。

3. 介護保険第2号被保険者数の推移

Table with 6 columns: 年月, 種別, 甲種組合員, 甲種組合員の家族, 乙種組合員, 乙種組合員の家族, 合計. Rows for months 4-12 and 1-3, plus annual average.

注()は、平成9年9月1日以降に適用除外承認を受けて加入した者の人数で、下段の再掲である。

参考 後期高齢者組合員(被保険者でない組合員)の状況

Table with 5 columns: 種別, 内訳, 3年度末現在数, 4年度中加入者数, 4年度中脱退者数, 4年度末現在数. Rows for 甲種組合員, 乙種組合員, and 合計.

4. 甲種組合員の年齢構成 (令和4年5月1日現在)

Table showing age composition of Category A members as of May 1, 2022. Columns include age group, number of members, and gender breakdown.

2 保険給付

1. 医療給付の状況

(1) 全体分

Table of medical benefits for the total population. Columns: Category, Item, Quantity, Amount, Insured Share, Co-payment, Other Share.

(2) 前期高齢者分再掲

Table of medical benefits for the previous period elderly population.

(3) 70歳以上一般分再掲

Table of medical benefits for the general population aged 70 and over.

(4) 70歳以上現役並み所得者分再掲

Table of medical benefits for the previous period active/semi-active population aged 70 and over.

(5) 未就学児分再掲

Table of medical benefits for the previous period non-school children.

2. 療養の給付等内訳

(1) 全体分

Table of medical benefits breakdown for the total population.

(2) 前期高齢者分再掲

Table of medical benefits breakdown for the previous period elderly population.

(3) 70歳以上一般分再掲

Table of medical benefits breakdown for the general population aged 70 and over.

(4) 70歳以上現役並み所得者分再掲

Table of medical benefits breakdown for the previous period active/semi-active population aged 70 and over.

(5) 未就学児分再掲

Table of medical benefits breakdown for the previous period non-school children.

3. 診療費内訳

(1) 全体分

Table of medical fee breakdown for the total population, including inpatient, outpatient, dental, and total counts.

(2) 前期高齢者分再掲

種別	件数	日数	費用額	受診率	1件当たり 日数	1件当たり 費用額	被保険者 1人当たり 費用額
入院	126 ^円	1,272 ^日	92,786,990 ^円	0.20 [%]	10.10 ^日	736,405 ^円	149,898 ^円
入院外	4,993	6,787	91,120,300	8.07	1.36	18,250	147,206
歯科	1,636	2,501	19,527,920	2.64	1.53	11,936	31,548
合計	6,755	10,560	203,435,210	10.91	1.56	30,116	328,652
参考3年度	6,842	10,881	220,400,420	10.94	1.59	32,213	352,641

(3) 70歳以上一般分再掲

種別	件数	日数	費用額	受診率	1件当たり 日数	1件当たり 費用額	被保険者 1人当たり 費用額
入院	13 ^円	191 ^日	12,529,840 ^円	0.27 [%]	14.69 ^日	963,834 ^円	261,038 ^円
入院外	462	730	12,180,620	9.63	1.58	26,365	253,763
歯科	126	191	1,422,430	2.63	1.52	11,289	29,634
合計	601	1,112	26,132,890	12.53	1.85	43,482	544,435
参考3年度	778	1,404	18,564,380	14.41	1.80	23,862	343,784

(4) 70歳以上現役並み所得者分再掲

種別	件数	日数	費用額	受診率	1件当たり 日数	1件当たり 費用額	被保険者 1人当たり 費用額
入院	61 ^円	650 ^日	39,335,700 ^円	0.29 [%]	10.66 ^日	644,848 ^円	188,209 ^円
入院外	1,763	2,510	44,495,180	8.44	1.42	25,238	212,896
歯科	571	851	6,986,110	2.73	1.49	12,235	33,426
合計	2,395	4,011	90,816,990	11.46	1.67	37,919	434,531
参考3年度	2,418	3,919	98,484,780	11.04	1.62	40,730	449,703

(5) 未就学児分再掲

種別	件数	日数	費用額	受診率	1件当たり 日数	1件当たり 費用額	被保険者 1人当たり 費用額
入院	10 ^円	37 ^日	2,014,770 ^円	0.11 [%]	3.70 ^日	201,477 ^円	22,386 ^円
入院外	695	1,018	7,336,660	7.72	1.46	10,556	81,518
歯科	138	159	1,165,220	1.53	1.15	8,444	12,947
合計	843	1,214	10,516,650	9.36	1.44	12,475	116,851
参考3年度	841	1,346	16,501,490	9.15	1.60	19,621	179,364

4. 高額療養費負担

件数	費用額	保険者負担分	高額療養費	被保険者 負担分	他法負担分	
433	318,959,749 ^円	225,570,127 ^円	60,937,038 ^円	29,900,863 ^円	2,551,721 ^円	
参考3年度	411	324,291,126	228,595,063	61,000,389	31,475,155	3,220,519

5. 傷病手当金

種別	支給者数	日数	傷病手当金
甲種組合員	14 ^人	79 ^日	474,000 ^円
甲種組合員家族	1	4	10,000
乙種組合員	22	506	1,518,000
計	37	589	2,002,000
参考3年度	21	1,839	8,319,000

6. その他の保険給付

種別	件数	支給額
出産育児一時金	22	9,240,000 ^円
葬祭費	4	800,000
参考3年度	19	7,964,000
参考3年度	4	800,000

3 保健事業

1. 健康診断の実施

実施都市医師会	実施者					費用額	助成金	
	甲種組合員	甲種組合員の配偶者	乙種組合員	乙種組合員の配偶者	計			
18	253 ^人	149 ^人	765 ^人	15 ^人	1,182 ^人	26,873,522 ^円	26,620,232 ^円	
参考3年度	18	257	161	790	13	1,221	27,674,802	27,263,652

2. 保健事業費の助成

甲種組合員	保健事業費	
932 ^人	632,400 ^円	
参考3年度	945	661,500

3. 特定健康診査・特定保健指導の実施

(1) 特定健康診査

	実施者			計
	特定健康診査受診者	特定健康診査受診者と見なした者 健康診断受診者	事業者健康診査受診者	
甲種組合員	22	227	0	249
甲種組合員の家族	36	137	0	173
乙種組合員	174	572	69	815
乙種組合員の家族	15	14	0	29
計	247	950	69	1,266
参考3年度	301	956	84	1,341

(2) 特定保健指導

	動機付け支援		積極的支援	
	対象者	利用者	対象者	利用者
甲種組合員	24	0	10	0
甲種組合員の家族	2	0	3	0
乙種組合員	29	1	13	0
乙種組合員の家族	0	0	0	0
計	55	1	26	0
参考3年度	64	1	33	0

4. 死亡見舞金の支給

甲種組合員	4件	400,000円
乙種組合員	3件	300,000円
合計	7件	700,000円
参考3年度	5件	500,000円

5. 第19回「学びながらのウォーキング大会」

開催日	中止
開催場所	-
参加者数	-
特別講演	-
ウォーキングコース	-

6. 甲種組合員（後期高齢者組合員を除く）疾病分類（令和4年5月診療分）

番号	疾病別大分類	45歳未満	45～69歳	70～74歳	計
1	感染症及び寄生虫症	0 ^件	1 ^件	4 ^件	5 ^件
2	新生物	0	18	8	26
3	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0	2	0	2
4	内分泌、栄養及び代謝疾患	2	35	15	52
5	精神及び行動の障害	1	6	0	7
6	神経系の疾患	0	9	5	14
7	眼及び付属器の疾患	6	27	6	39
8	耳及び乳突突起の疾患	0	6	0	6
9	循環器系の疾患	0	40	22	62
10	呼吸器系の疾患	1	15	4	20
11	消化器系の疾患	0	19	4	23
12	皮膚及び皮下組織の疾患	0	2	3	5
13	筋骨格系及び結合組織の疾患	0	15	4	19
14	腎尿路生殖器系の疾患	2	8	10	20
15	妊娠、分娩及び産後	0	0	0	0
16	周産期に発生した病態	0	0	0	0
17	先天奇形、変形及び染色体異常	0	0	0	0
18	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0	8	4	12
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響	2	4	1	7
合計		14	215	90	319

7. 死没甲種組員（後期高齢者組員を含む）疾病分類（令和4年度）

番号	疾病別大分類	人数
1	感染症及び寄生虫症	1
2	新生物	5
3	血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	0
4	内分泌、栄養及び代謝疾患	0
5	精神及び行動の障害	0
6	神経系の疾患	0
7	眼及び付属器の疾患	0
8	耳及び乳突突起の疾患	0
9	循環器系の疾患	0
10	呼吸器系の疾患	0
11	消化器系の疾患	1
12	皮膚及び皮下組織の疾患	0
13	筋骨格系及び結合組織の疾患	0
14	腎尿路生殖器系の疾患	1
15	妊娠、分娩及び産後	0
16	周産期に発生した病態	0
17	先天奇形、変形及び染色体異常	0
18	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0
19	損傷、中毒及びその他の外因の影響	0
合計		8
死亡者の平均年齢		73.8

4 組 合 会

開催月日	提 出 議 案
7月21日	<p>第1回通常委員会</p> <p>1. 承認事項 承認第1号 令和3年度事業報告について</p> <p>2. 議決事項 議案第1号 令和3年度歳入歳出決算について 議案第2号 令和3年度歳計剰余金の処分について</p>
2月16日	<p>第2回通常委員会</p> <p>1. 承認事項 承認第1号 「理事の専決処分」事項について 承認第2号 令和5年度法令遵守（コンプライアンス）のための実践計画について</p> <p>2. 議決事項 議案第1号 規約の一部改正について 議案第2号 令和5年度事業計画について 議案第3号 令和5年度歳入歳出予算について</p>

5 理 事 会

回	開催月日	審 議 事 項
第1回	4月21日	1. 特定個人情報保護評価計画管理書及び基礎項目評価書の見直しについて
第2回	5月12日	1. 自家診療承認申請について 2. 組合議員について 3. 傷病手当金支給申請について
第3回	5月26日	1. 保険料減額免除について 2. 全医連第3回運営委員会「Web」について
第4回	6月9日	1. 第19回「学びながらのワーキング大会」について 2. 傷病手当金支給申請について 3. 令和4年度保険料賦課状況について 4. 全医連第4回理事会「Web」について
第5回	6月23日	1. 理事長・副理事長・常務理事及び法令遵守（コンプライアンス）担当理事の互選について
第6回	7月7日	1. 第1回通常委員会について 2. 傷病手当金支給申請（新型コロナウイルス感染症）について
第7回	8月4日	1. 傷病手当金支給申請について 2. 中国四国医師国保組合連絡協議会について 3. 全医連代表者会について
第8回	9月1日	1. 傷病手当金支給申請（新型コロナウイルス感染症）について 2. 全医連第1回運営委員会について
第9回	9月15日	1. 傷病手当金支給申請について 2. 全医連第1回理事会「Web」について
第10回	10月6日	1. 傷病手当金支給申請（新型コロナウイルス感染症）について 2. 全協第1回理事長・役員研修会について
第11回	10月20日	1. 傷病手当金支給申請（新型コロナウイルス感染症）について 2. 全医連代表者会について 3. 全医連第60回全体協議会について
第12回	11月10日	1. 傷病手当金支給申請（新型コロナウイルス感染症）について
第13回	11月24日	1. 傷病手当金支給申請について
第14回	12月8日	1. 国保問題検討委員会委員（案）について
第15回	12月22日	1. 傷病手当金支給申請（新型コロナウイルス感染症）について 2. 全医連第2回運営委員会について
第16回	1月5日	1. 傷病手当金支給申請（新型コロナウイルス感染症）について
第17回	1月19日	1. 規約の一部改正（理事の専決処分）について 2. 保険料減額免除内規の一部改正について 3. 令和5年度法令遵守（コンプライアンス）のための実践計画の策定について 4. 傷病手当金支給申請（新型コロナウイルス感染症）について
第18回	2月2日	1. 第2回通常委員会について 2. 傷病手当金支給申請（新型コロナウイルス感染症）について 3. 全医連第2回理事会について
第19回	2月16日	1. 令和4年度版「医師国保組合の将来を考える」アンケート調査について 2. 傷病手当金支給申請（新型コロナウイルス感染症）について 3. 全協第2回理事会・役員研修会について 4. オンライン資格確認の推進に関する説明会「Web」について
第20回	3月2日	1. 傷病手当金支給申請（新型コロナウイルス感染症）について 2. 山口県国民健康保険団体連合会第4回理事会について
第21回	3月16日	1. 令和5年度中国四国医師国保組合連絡協議会の開催方法について 2. 傷病手当金（新型コロナウイルス感染症）の支給について 3. 傷病手当金支給申請について

6 監事会

7月7日、令和3年度歳入歳出予算の執行状況並びに同決算の状況について、詳細に監査を行った。

7 令和4年度全協中国・四国支部総会

5月21日、書面開催にて、令和3年度事業報告及び収支決算、令和4年度事業計画、予算、および会費徴収方法等について議決した。

8 令和4年度中国四国医師国保組合連絡協議会について

7月23日、高松市（香川県医師国保の担当）にて開催され、加藤理事長、神中・中村両副理事長、長谷川・上野両常任理事が出席。
代表者会議では全体会議の運営等について、全体会議では令和3年度事業報告・決算報告等の承認後、各県から提出された議題について協議を行った。
また、「国保組合の現状と課題」（厚生労働省大臣官房審議官 野村知司）の講演が行われた。

9 全医連代表者会

7月29日、東京において開催。加藤理事長が出席。
令和4年度会費額及び徴収方法、理事の選任を議決し、4年度事業計画・予算について報告が行われた。
また、「国民健康保険組合をめぐる状況と今後の医療の課題」（岩手医科大学医学部客員教授、元厚生労働省医政局長 武田俊彦）の講演が行われた。

10 全協理事長・役員研修会

9月28日、アルカディア市ヶ谷にて開催され、加藤理事長が出席。
「国民健康保険、国保組合の最近の状況について」（厚生労働省保険局国民健康保険課長 高木 有生）、および、「これからの地域包括ケアとかかりつけ医機能～ポストコロナの新たな課題」（東京海上日動火災保険株式会社顧問 武田俊彦）の講演が行われた。
2月3日、アルカディア市ヶ谷にて開催され、加藤理事長が出席。

「2 保険給付」の1.「医療給付の状況」の(1)全体分では、欄外の令和3年度と比較して、件数が約550件、費用額は約775万円の減となっている。

(2)前期高齢者分再掲については、65歳から74歳までの被保険者分を再掲したものであるが、費用額は令和3年度より約755万円の減となっているものの、(3)70歳以上一般分再掲では、約240件の減に対し、費用額が1,057万円の増となっている。また、(5)未就学児分再掲では、13件、644万円の減となっている。

4.「高額療養費負担分」では、所得により区分される自己負担限度額を超えた額を高額療養費として支給するが、令和3年度と比較して、22件増ではあるものの、ほぼ同額で約6,094万円を支給している。

5.「傷病手当金」では、疾病又は傷病のため引き続き10日を超えて休業・休職をされたとき、11日目から甲種組合員は1日につき6千円、乙種組合員は3千円を支給するものであるが、この表において該当するのは8件、141万円のみで、それ以外となる29件、59万2千円は、新型コロナウイルスに特化した傷病手当金となっており、組合員のみでなく、家族も対象となっている。

「3 保健事業」の3.「特定健康診査・特定保健指導」では、令和4年度における保健指導の利用開始者数が1人のみで、保健指導対象者には、利用券の送付による勧奨を行っているが、利用者の増加が見られない状況となっている。

なお、平成30年3月に、データ分析に基づく効果的・効率的な保健事業を実施するための「データヘルス計画」を策定したが、特定健診等の受診率向上を目標として、各郡市医師会別の受診実績を情報提供することとしている。

対象者2,311人に対し、特定健診受診者、及び、他の検診で同等と見なす者は1,261人で、受診率54.6%となっている。第3期特定健診実施計画で定めた令和4年度の目標値68%には、到達することができなかった。

また、各郡市医師会で対象者数等が異なるため

単純に比較できないが、受診率に大きな違いがある。なお、いずれも乙種組合員の受診率に比べ、甲種組合員とご家族の受診率が低い傾向にある。

特定健診では、自家健診を認めているので、ご家族の健診について、ご協力をお願いする。

5.「第19回『学びながらのウォーキング大会』」、及び、諸会議等においては、新型コロナウイルスの影響により、中止・書面開催となったものがあつたが、多くの会議が従来の形に戻りつつある。

議案第1号 令和4年度歳入歳出決算

歳入歳出ともに予算額14億6,808万3千円に対し、歳入決算額は、14億9,391万1,554円、歳出決算額は11億8,229万6,315円で、歳入歳出差引額は3億1,161万5,239円となっている。

歳入の第I款「国民健康保険料」は、令和2年度に保険料の引き上げにより、前年度より約2億円増の保険料収入となったが、その後、被保険者数の減少にともない、年々減収となっている。

第II款「国庫支出金」の(2)「国庫補助金」については、平成28年度から令和2年度の5年間で補助率が引き下げられ減少傾向にあったが、3年度以降は、1億3千万円前後で推移している。

歳出の第III款「保険給付費」について、令和2年度は、コロナによる受診控えの影響で療養給付費が減少したが、3年度以降、コロナ前を上回る額となっている。

第V款「前期高齢者納付金等」の令和4年度支出額が事務費の1万3千円で、前年度に比べ約4,046万円の減があつたこと等により、単年度収支は令和3年度を約5,609万円上回る約6,703万6千円となった。

差引残高3億1,161万6千円は、令和5年度の繰越金となるが、予算2億7,382万5千円を3,779万1千円上回っている。

<歳入の部>

第I款「国民健康保険料」は、医療給付費分保険料等4種類の保険料の合計で、10億2,859万9千円の収入があり、収入総額の約69%を占め

令和4年度歳入歳出決算書

歳入の部		歳出の部	
予算額	1,468,083,000円	予算額	1,468,083,000円
決算額	1,493,911,554円	決算額	1,182,296,315円

歳入歳出差引額 311,615,239円

歳入

(単位 円)

款 項	予算額	調定額	収入額	未収入額	予算額に対し増減(△)
I 国民健康保険料	1,035,226,000	1,028,599,000	1,028,599,000	0	△6,627,000
(1) 国民健康保険料	1,035,226,000	1,028,599,000	1,028,599,000	0	△6,627,000
II 国庫支出金	127,172,000	134,546,663	134,546,663	0	7,374,663
(1) 国庫負担金	3,141,000	3,695,213	3,695,213	0	554,213
(2) 国庫補助金	124,031,000	130,851,450	130,851,450	0	6,820,450
III 共同事業交付金	55,715,000	65,828,000	65,828,000	0	10,113,000
(1) 共同事業交付金	55,715,000	65,828,000	65,828,000	0	10,113,000
IV 財産収入	10,000	2,650	2,650	0	△7,350
(1) 財産運用収入	10,000	2,650	2,650	0	△7,350
V 繰入金	1,000	0	0	0	△1,000
(1) 準備金繰入金	1,000	0	0	0	△1,000
VI 繰越金	234,130,000	247,444,559	247,444,559	0	13,314,559
(1) 繰越金	234,130,000	247,444,559	247,444,559	0	13,314,559
VII 諸収入	15,829,000	17,490,682	17,490,682	0	1,661,682
(1) 預金利子	1,000	0	0	0	△1,000
(2) 雑入	15,828,000	17,490,682	17,490,682	0	1,662,682
合 計	1,468,083,000	1,493,911,554	1,493,911,554	0	25,828,554

歳 出		(単位 円)				
款 項	予 算 額	予算決定後増減額 (△)		予 算 現 額	支 出 額	不 用 額
		予 備 費 充 当 増 減 額 (△)	款 内 流 用 増 減 額 (△)			
I 組合会費	3,228,000	0	0	3,228,000	1,965,900	1,262,100
(1) 組合会費	3,228,000	0	0	3,228,000	1,965,900	1,262,100
II 総務費	38,324,000	9,956,072	0	48,280,072	44,356,547	3,923,525
(1) 総務管理費	37,824,000	9,956,072	0	47,780,072	43,890,547	3,889,525
(2) 徴収費	500,000	0	0	500,000	466,000	34,000
III 保険給付費	696,069,000	0	0	696,069,000	672,402,794	23,666,206
(1) 療養諸費	614,277,000	0	0	614,277,000	599,419,136	14,857,864
(2) 高額療養費	61,686,000	0	0	61,686,000	60,937,038	748,962
(3) 移送費	100,000	0	0	100,000	0	100,000
(4) 出産育児諸費	10,506,000	0	0	10,506,000	9,244,620	1,261,380
(5) 葬祭諸費	1,500,000	0	0	1,500,000	800,000	700,000
(6) 傷病手当金	8,000,000	0	0	8,000,000	2,002,000	5,998,000
IV 後期高齢者支援金等	223,223,000	0	0	223,223,000	222,090,726	1,132,274
(1) 後期高齢者支援金等	223,223,000	0	0	223,223,000	222,090,726	1,132,274
V 前期高齢者納付金等	14,000	0	0	14,000	12,823	1,177
(1) 前期高齢者納付金等	14,000	0	0	14,000	12,823	1,177
VI 介護納付金	135,464,000	0	0	135,464,000	135,463,838	162
(1) 介護納付金	135,464,000	0	0	135,464,000	135,463,838	162
VII 共同事業拠出金	71,193,000	0	0	71,193,000	70,125,612	1,067,388
(1) 共同事業拠出金	63,967,000	0	0	63,967,000	63,967,000	0
(2) 共同事業負担金	7,226,000	0	0	7,226,000	6,158,612	1,067,388
VIII 保健事業費	44,740,000	0	0	44,740,000	32,012,559	12,727,441
(1) 特定健康診査等事業費	5,119,000	0	0	5,119,000	3,673,287	1,445,713
(2) 保健事業費	38,621,000	0	0	38,621,000	27,639,272	10,981,728
(3) 死亡見舞金	1,000,000	0	0	1,000,000	700,000	300,000
IX 積立金	1,001,000	0	0	1,001,000	1,000,000	1,000
(1) 積立金	1,001,000	0	0	1,001,000	1,000,000	1,000
X 公債費	1,000	0	0	1,000	0	1,000
(1) 一般公債費	1,000	0	0	1,000	0	1,000
XI 諸支出金	3,199,000	0	0	3,199,000	2,865,516	333,484
(1) 償還金及び還付加算金	3,199,000	0	0	3,199,000	2,865,516	333,484
XII 予備費	251,627,000	△9,956,072	0	241,670,928	0	241,670,928
(1) 予備費	251,627,000	△9,956,072	0	241,670,928	0	241,670,928
合 計	1,468,083,000	0	0	1,468,083,000	1,182,296,315	285,786,685

ている。

なお、被保険者数の減少が見込み以上となったため、予算額に対し約663万円の減となっている。

第Ⅱ款第1項「国庫負担金」は、本組合の人員費等に対する事務費負担金で、被保険者数によって算定されるが、予算額に対し約55万円の増となっている。

第2項「国庫補助金」内の療養給付費等補助金では、本組合が支出した療養給付費等、後期高齢者支援金、介護納付金等に対する補助であり、合計して約1億2千万円の補助があった。

第Ⅲ款「共同事業交付金」は、全国国保組合協会が行う高額医療費共同事業で、各国保組合が拠出金を出し合い、1件が100万円を超えるレセプトについて、交付金が支給される。

交付額は6,582万8千円だったが、6,395万2千円（歳出：Ⅶ款1項1目19節）を支出しているため、交付額が187万6千円多くなり、共同事業の恩恵を受けている。

第Ⅳ款「財産収入」は、利息収入となっている。

第Ⅴ款の「繰入金」は、ない。

第Ⅵ款の「繰越金」は、令和3年度剰余金を繰り越した額であり、予算額を約1,331万円上回る2億4,744万4,559円となっている。

第Ⅶ款「諸収入」第1項「預金利子」は、平素組合の運用に充てている資金の利息であるが、利息のつかない決済性預金のため、利息はない。

第2項「雑入」内の返納金として、前期高齢者納付金の令和2年度の精算額等が、令和4年度概算額を超えたため、支払基金から1,738万4,856円の還付があった。

収入合計額は、14億9,391万1,554円で、前年度比99.01%となっている。

<歳出の部>

第Ⅰ款「組合会費」は、組合会開催に要した旅費等の経費で、196万5,900円を支出している。

第Ⅱ款の第1項「総務管理費」は、役員報酬等の人員費や旅費、消耗品費など事務経費として、また、第2項「徴収費」は、各郡市医師会へ保険料徴収事務費として、甲種組合員1人あたり

500円を交付しているものである。

なお、オンライン資格確認等の整備に係るシステム改修費用等で約996万円の予備費充当している。

第Ⅲ款「保険給付費」においては、療養給付費の増加を見込んでいたが、70歳以上の2割負担者を除いて全体的に減少したことと、出産育児一時金、傷病手当金の支給件数が少なかったため、款全体で約2,367万円の残額を生じている。

第Ⅳ款「後期高齢者支援金等」から第Ⅵ款「介護納付金」は、厚労省が示した算出式で予算額を計上しており、いずれも予算内での支出となった。

3款合計で、約3億5,757万円を社会保険診療報酬支払基金に納付している。

第Ⅶ款第1項「共同事業拠出金」は、全国国保組合協会に支払った高額医療費共同事業の拠出金等となるが、中間サーバー運営負担金で1万6,612円の不足が生じたため款内流用しており、款全体の支出では約7,013万円となっている。

第Ⅷ款「保健事業費」では、特定健診・特定保健指導、健康診断の経費等となるが、実施者数が伸び悩み、約1,273万円の不用額が生じている。

第Ⅸ款「諸支出金」では、令和3年度交付の国庫補助金を昨年度の精算で超過交付分として国庫に返還した額174万9,516円と、「未就学児に係る子育て世帯の保険料軽減」の93名分となる111万6千円を、償還金として計上している。

なお、本軽減分については、本年2月開催の組合会でご承認いただいた、「全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律」の施行にともなう保険料軽減で、令和4年11月末日に未就学児がある組合員に対し、未就学児1名につき1万2千円を特別調整補助金にて交付したものである。

第Ⅹ款「予備費」については、第Ⅱ款への充当額を減額し、予算現額及び不用額は2億4,167万928円となる。

支出合計額は、11億8,229万6,315円となり、対前年度比93.7%となった。

議案第2号 令和4年度歳計剰余金の処分について

3億1,161万5,239円の剰余金が生じたため、全額を翌年度繰越金にしようとするものである。

令和5年度予算における繰越金は、2億7,382万5千円を計上しているため、予算額に対し約3,779万円の増額となる。

何卒慎重ご審議の上、ご承認の程お願いする。

監査報告

議長、監事の監査報告を求める。

宮本監事 山口県医師国民健康保険組合の令和4年度歳入歳出予算の執行状況並びに同決算の状況を監査したところ、適切に事業の執行がなされ、決算状況も適正であるものと認める。

令和5年7月6日

山口県医師国民健康保険組合

監事 藤野 俊夫

監事 宮本 正樹

監事 友近 康明

採決

議長、全議案について順次採決を行い、議員の挙手多数により原案どおり可決された。以上をもって議案の審議がすべて終了した。

V 閉会の挨拶

加藤理事長 本日は、慎重なご審議ありがとうございました。

議題の説明にありましたが、特定健診等の受診率が少々低い状況となっております。

受診による疾病の早期発見により、皆様の健康を維持していただければ、保険料の引き上げ回避にも繋がりますので、是非、ご家族なども含め受診していただければと思います。

本日は、ありがとうございました。

山口県医師会メールマガジンのお知らせ

山口県医師会では、メールマガジンにより会員の皆様へより多くの情報をお届けいたします。ぜひ、ご登録をお願いします。

メールマガジン配信をご希望の方は、①又は②の方法でご登録ください。

①スマートフォンの方

右のQRコードからアクセスし、必要事項を入力してください。

②パソコンの方

yamajoho@yamaguchi.med.or.jp へメールをお送りください。

(折り返し、登録に関するご案内をお知らせいたします。)

- ・本メールマガジンは配信専用です。
- ・ご連絡いただきましたメールアドレスは本事業でのみ利用し、他に提供はいたしません。

